



コートライ夢中学校卒業式

2008年に開校したCMCコートライ夢中学校（以下、コートライ中学校）。3年目の今年、はじめての卒業生を送り出す。学校建設のドナーであり継続して支援を行なっている佐世保青年会議所のみなさんが9月17日に訪問、卒業を祝った。



佐世保青年会議所を代表して坂本崇さんより卒業生に卒業証書が手渡された。

コートライ中学校を今年卒業するのは19人。学校は10月からの新学期まで休暇中だがこの日卒業生15人を含む65人が参加、在校生が見守るなか卒業証書を受け取った。



卒業証書は佐世保青年会議所のみなさんが用意したもの。日本語だが授与する際にクメール語で内容を伝えた。



授業中の9年生（2010年11月）

2008年に開校した際に入学した7年生は95人いたが3年後、9年生まで進級できたのは19人のみ。残った9年生19人全員が卒業、高校へ進学できることは嬉しいニュースだが、残りの8割は退学してしまった現実を考えると厳しい。

就学率（該当する年齢の生徒数を該当する年齢人口数で割ったもの）

	小学校	中学校	高校
オーチュロウブ郡 (2008-2009)	96.0	20.3	6.6
バンテアイミエンチャイ州	94.5	40.1	17.4
全国	95.2	35.0	20.6
都市部	93.8	51.3	46.8
地方	95.5	31.7	14.9

カンボジアでは小学校6年、中学校3年の9年間で義務教育とされているが、おもに家庭の経済的な理由により満たせていない。コントライ中学校が位置するバンテアイミエンチャイ州オーチュロウブ郡内の中学校の就学率は20%、高校の就学率はわずか6.6%と低い。

2010-2011 教育省統計

コントライ中学校へはコントライ村をはじめ周辺4村の子どもたちが通っている。以前は離れたところにしか中学校がなかったため通学をあきらめていた子どもがコントライ中学校が近くに出来たことにより通えるようになった。中学校へのアクセスが改善し就学率の向上に寄与していると思われる。図書室、貯水タンクの設置など教育環境も支援により向上している。



8年生の教室（2009年10月）

しかし、せっかく入学できた生徒も学校に来れなくなってしまう。コーントライ中学校は貧困世帯の生徒が多く、学校を辞めてしまう大きな理由は家庭の経済上の理由だ。親が出稼ぎに出ている間、家事や小さな子どもの世話をするために学校へ来れなくなる子。自らも出稼ぎへと出る子。土地を求めて他地域へ移住した家庭の子。

公立中学校に学費は必要ない。子どもを学校へ行かせるのに直接コストはかかわらないにせよ、子どもが学校に行かずに働いた場合に得られる収入を考えると貧困世帯では子どもを学校へ行かせることは労働力、収入の減少を意味する。自己所有の土地がない家庭、あるいはわずかな土地しか所有していない家庭は農業だけで生計を立てることは困難で、現金収入を得るためにタイや国内の仕事が得られる場所へと出稼ぎに出る。子どもが直接働いていなくとも家事、育児を任せられるのでその間親が出稼ぎに出ることができる。子どもが間接的に家庭の生計を支えていることになる。

教育は子どもたちの、家族の将来への投資だ。昔ながらの農業や村内での小規模な商売において高い学歴は必ずしも必要ではないが、雇用を生む産業の発展により教育はその重要性を増していく。高い収入が見込める職業につくためにはより高い教育が必要とされる。



コーントライ中学校初の卒業生たち

卒業生たちはコープ、ニミット、モンコールボレイの3高校へ進学する。就学状況が厳しいなかで高校へと進学出来た第1期生たちの卒業を心から祝いたい。次は高校の卒業、大学への進学を目指してがんばって欲しい。そして、彼ら自身の、彼らの家族の収入の向上につながる将来をつかみ取って欲しい。村で雇用を生む産業が発展していないために村を出て街に出ることになるが、何らかの形で地域の発展に貢献してくれる人材となってくれることを期待したい。